

金沢大学大学院新学術創成研究科研究室指導方針

金沢大学大学院新学術創成研究科は、「革新的かつ新しい学問・産業の分野・領域の創成につながる異分野融合的な研究による成果や社会との往還を基盤に大学院教育を展開することで新たな学術の創成に寄与し、学際性・総合性・国際性を有する研究者や産業人等を養成すること」を目的としている。大学院教育における各研究室での教員による研究指導は、本研究科における教育のうち大きな役割を果たすものと考えられる。この考えから、本研究科では、専攻、課程により研究室における研究指導方針を次のとおり定める。

■融合科学共同専攻博士前期課程

「グローバル社会のニーズや動向を察知し、様々な科学的知見と先端科学技術を基に、科学技術イノベーションに協奏的・共創的に貢献できる人材」を養成するために、主任研究指導教員は、学生の興味や進路などを考慮し、学生と協議しながら、複数の科学分野を融合した、科学技術イノベーションに関連する研究テーマを個人ごとに設定し、個別又は少人数により、日常的に、研究テーマに関する文献調査や研究活動に係る指導を行うとともに、授業の履修指導などを行い、学位論文等の作成指導等を行う。

また、副主任研究指導教員は、学生の研究テーマに関連して、主任研究指導教員と連携をとりながら、当該学生の研究が複数の科学分野の融合を実践していけるものとなるよう、主任研究指導教員とは異なる見地からの指導・助言を行う。

■融合科学共同専攻博士後期課程

「グローバル社会のニーズや動向に応じて、独創的な発想と卓越した研究力を基に、科学技術イノベーションの基盤を生み出し、社会実装できる博士人材」を養成するために、主任研究指導教員は、当該学生に対する教育研究上の指導の中心を担い、主となる研究分野と融合研究の実践を念頭に置き、毎日の研究活動を通して学生の研究テーマに対して直接指導を行う。研究テーマ設定の綿密な打ち合わせの上、授業の履修指導、ラボ・ローテーション先の選択に関する指導、研究指導、学位論文等の作成指導等を行う。

また、副主任研究指導教員は、主任研究指導教員と連携をとりながら、学生の進捗について定期的に報告を受けるとともに、自らの専門となる分野の手法や知見を学生の研究テーマに活かすことを中心に、主任研究指導教員とは異なる見地からの指導・助言を行う。